

農山漁村振興交付金のうち 中山間地農業推進対策

【令和6年度予算額 8,389（9,070）百万円の内数】

<対策のポイント>

中山間地域等において、地域別農業振興計画に基づき、収益力向上や販売力強化等に関する取組、複数の集落の機能を補完する農村RMOの形成、デジタル技術の導入・定着を推進する取組を支援します。

<事業目標>

中山間地域等の特色をいかした営農と所得の確保に取り組み、事業目標を達成した地区の創出（350地区〔令和7年度まで〕）

<事業の内容>

1. 中山間地農業ルネッサンス推進事業

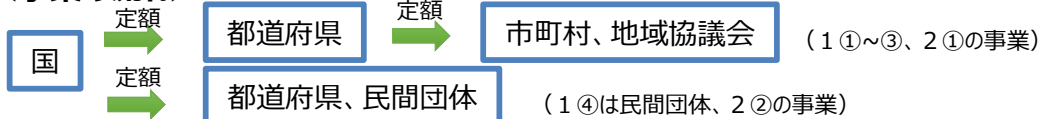
- 中山間地農業ルネッサンス推進支援
中山間地域等の特色をいかした創意工夫あふれる取組等を支援します。
- 元気な地域創出モデル支援
収益力向上や販売力強化等に関する取組、デジタル技術の導入・定着を支援します。
【事業期間：上限3年間、交付率：定額（上限3,000万円（1,000万円（年基準額）×事業年数））】
- 地域レジリエンス強化支援
地域レジリエンス強化連携協定に基づく避難対応実現の取組等を支援します。
- 中山間地複合経営実践支援
地域特性に応じた複合経営を実践する取組を支援します。

2. 農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業

- 農村RMOモデル形成支援
むらづくり協議会が行う調査、計画作成、実証事業等を支援します。
【事業期間：上限3年間、交付率：定額（上限3,000万円（1,000万円（年基準額）×事業年数））】
- 農村RMO形成伴走支援
協議会の伴走者となる中間支援組織の育成等の取組を支援します。

※対象地域：8法指定地域等

<事業の流れ>



<事業イメージ>

1. ② 元気な地域創出モデル支援

ア 収益力向上

高収益作物導入



イ 販売力強化

高糖度栽培技術の導入



ウ 農用地保全

棚田の保全



エ 複合経営

ミニトマト栽培と加工品の開発



オ 生活支援

買物支援・見守り



デジタル技術の導入・定着



《栽培技術のeラーニング》



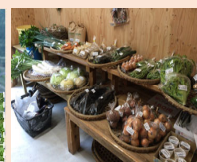
《テレビ画面で買物支援》

2. 農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業

① 農村RMOモデル形成支援



農用地保全



地域資源活用



生活支援

② 農村RMO形成伴走支援



全国規模の研修会、中間支援組織による人材育成研修



社会課題解決や魅力向上を通じた地域活性化
（デジタル田園都市国家構想の実現を後押し）

「くらしづくり」を推進
農村の

【お問い合わせ先】 農村振興局地域振興課（03-3501-8359）⁴

農山漁村振興交付金のうち
中山間地農業推進対策（中山間地農業ルネッサンス推進事業）
元気な地域創出モデル支援

事業要件等

事業内容：収益力向上、販売力強化、生活支援等に関する具体的な取組、デジタル技術の導入・定着を後押しすることで、優良事例創出を推進。

対象地域：過疎、特定農山村、振興山村、離島、半島、沖縄、奄美、小笠原、特別豪雪地帯、指定棚田、旧急傾斜法の指定地域、農林統計上の中山間地域

実施主体：都道府県、市町村又は地域協議会

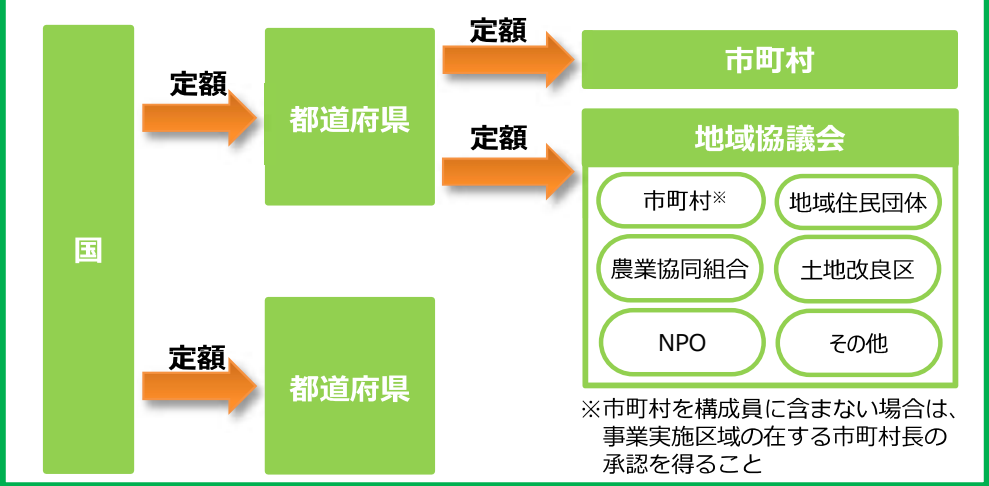
交付率（上限）：定額（1,000万円(年基準額)×事業年数）

実施期間：最大3年間

交付対象経費

旅費(調査等旅費、委員等旅費)、諸謝金、委託費、事務費(通信運搬費、報酬・給与等)、土地基盤・機械・施設等整備費（実証ほ場の整備等の簡易なハード整備を含む）

事業の流れ



メニュー一覧

地域別農業振興計画の実現に向け、次のモデルメニューにより、調査、計画作成又は実証に関する取組を支援。優良事例の創出を加速させ、事例の横展開を推進

ア 収益力向上に関する取組

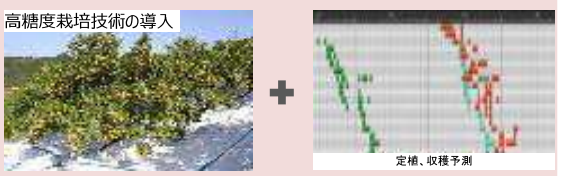
野菜、果樹、花き等の高収益作物の導入、生産、販売や鳥獣被害対策等による収益力向上



高収益作物の導入 + 【栽培技術のeラーニング】

イ 販売力強化に関する取組

高品質作物の導入、品質向上、加工、ブランド化等により農産品の付加価値を高めて販売力を強化



高品質作物生産 + 【出荷予測システム構築】

ウ 農用地保全に関する取組

棚田地域を含む農用地保全・振興に関する多様な取組の実践



農用地保全 + 【棚田の水管理を遠隔操作】

エ 複合経営に関する取組

農業、畜産、林業も含めた多様な組合せによる複合経営及び農業と他の仕事を組み合わせた半農半Xの実践



農業・加工品開発 + 【自動収穫ロボット】

オ 生活支援に関する取組

農村地域における生活支援の取組



買い物支援 + 【デジタル技術を活用した生活サービス】

農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業 ～地域で支え合うむらづくりの推進～

【令和6年度予算額 8,389（9,070）百万円の内数】

<対策のポイント>

中山間地域等において、複数の集落の機能を補完する**農村RMOの形成を推進**するため、**むらづくり協議会等が行う実証事業やデジタル技術の導入・定着**を推進する取組のほか、協議会の伴走者となる**中間支援組織の育成等**の取組を支援します。

<事業目標>

農用地保全に取り組む地域運営組織（100地区〔令和8年度まで〕）

<事業の内容>

1. 農村RMOモデル形成支援

むらづくり協議会等による地域の話合いを通じた農用地保全、地域資源活用、生活支援に係る**将来ビジョン策定**、ビジョンに基づく**調査、計画作成、実証事業**等の取組、**デジタル技術の導入・定着**を推進する取組を支援します。

【事業期間：上限3年間、交付率：定額（上限3,000万円（1,000万円（年基準額）×事業年数））】

2. 農村RMO形成伴走支援

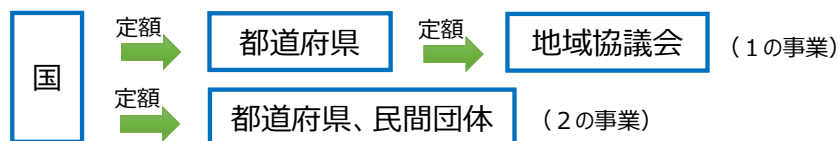
農村RMO形成を効率的に進めるため、**中間支援組織の育成等**を通じた都道府県単位における**伴走支援体制の構築**や、各地域の取組に関する情報・知見の蓄積・共有、研修等を行う**全国プラットフォームの整備**を支援します。

農村型地域運営組織（農村RMO：Region Management Organization）

複数の集落の機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取組を行う組織

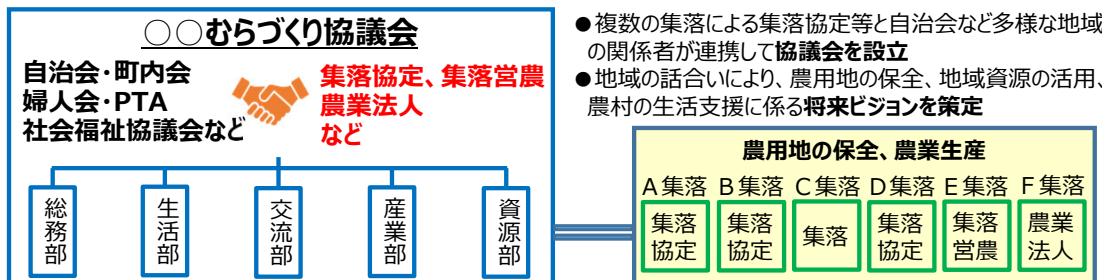
※対象地域：8法指定地域等

<事業の流れ>



<事業イメージ>

農村型地域運営組織（農村RMO）のイメージ



- 複数の集落による集落協定等と自治会など多様な地域の関係者が連携して**協議会を設立**
- 地域の話合いにより、農用地の保全、地域資源の活用、農村の生活支援に係る**将来ビジョンを策定**

農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業

農村RMOモデル形成支援



農村RMO形成伴走支援

【都道府県単位の支援】



中間支援組織による人材育成研修

【全国単位の支援】



農村RMO研究会による情報・知見の蓄積・共有、研修等の支援

農山漁村振興交付金のうち
中山間地農業推進対策（農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業）
農村RMOモデル形成支援

農村型地域運営組織（農村RMO：Region Management Organization）
複数の集落の機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、
生活支援等地域コミュニティの維持に資する取組を行う組織。

事業要件等

事業内容：中山間地域等では、高齢化・人口減少の進行により、農業生産活動のみならず、地域資源（農地・水路等）の保全や生活環境（買い物・子育て等）など、集落維持に必要な取組を行う機能が弱体化しているため、地域コミュニティの維持に資する活動を行う農村RMOの形成を推進

対象地域：過疎、特定農山村、振興山村、離島、半島、沖縄、奄美、小笠原、特別豪雪地帯、指定棚田、旧急傾斜法の指定地域、農林統計上の中山間地域

実施主体：複数集落※を含む地域協議会
※ 集落の単位は、農林業センサスの農業集落

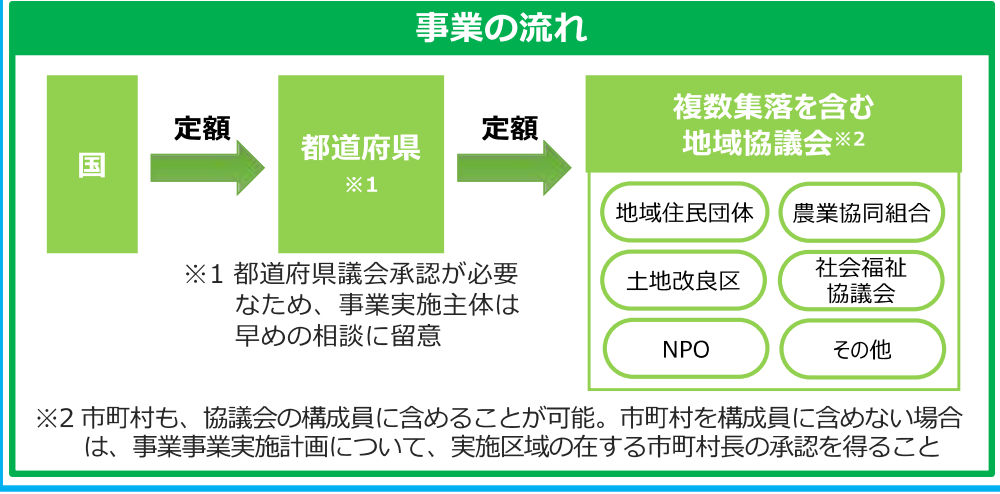
交付率（上限）：定額（1,000万円(年基準額)×事業年数）

実施期間：最大3年間

交付対象経費

旅費(調査等旅費、委員等旅費)、諸謝金、委託費、事務費(通信運搬費、報酬・給与等)、※土地基盤・機械・施設等整備費
(実証ほ場の整備等の簡易なハード整備を含む)

※土地基盤・機械・施設等整備費については、事業への位置づけや必要性のほか、実証に必要な最小限の範囲となっているか等について、個別具体的内容で確認



取組内容

むらづくり協議会等による地域の話合いを通じた農用地保全、地域資源活用、生活支援に係る将来ビジョン策定、ビジョンに基づく調査、計画作成、実証事業等の取組、デジタル技術の導入・定着を推進する取組を推進。
(デジタル技術活用は必須条件ではない)

将来ビジョンの作成（地域の話合いにより共通認識を醸成）
※ 将来ビジョンは、事業初年度に策定する。なお、既に同様なものが策定されている場合は、それを活用することも可

【集落点検で現状を確認】 【アンケートで意向を把握】 【ワークショップで合意形成】

農用地保全に関する取組（持続的な農用地の保全）

【棚田の保全や景観保全】 【遊休農地の解消】 【スマート農業導入を検討】

地域資源活用に関する取組（農産物を含む地域資源の活用）

【直売所等での販売】 【特産品の試作】 【インターネットを活用した販路拡大】

生活支援に関する取組（農村地域における生活支援）
※ 生活支援の実証に取り組む場合は、農用地保全に関する取組や地域資源活用に関する取組と関連した取組であること

【集出荷と併せた買い物支援】 【貨客混載（農作物）】 【テレビ画面で買い物支援】

農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業 実施状況

R6.1.22 時点

中国四国

島根県（7地区）

- 31 和田地区まちづくり推進委員会（浜田市）
- 32 今福まちづくり委員会（浜田市）
- 33 佐田地域づくり協議会（出雲市）
- 34 久利・大屋地区小さな拠点推進協議会（大田市）
- 35 池田集落協定運営委員会（大田市）
- 36 躍動と安らぎの里づくり鍋山（雲南市）
- 37 出羽地区運営協議会（邑南町）

岡山県（1地区）

- 38 吉縁起村協議会（真庭市）

広島県（3地区）

- 39 石原集落地域振興協議会（三次市）
- 40 田幸地区町内会連合会（三次市）
- 41 庄原市山内集落地域振興協議会（庄原市）

徳島県（3地区）

- 42 加茂谷RMO推進協議会（阿南市）
- 43 椿町農村RMO運営組織協議会（阿南市）
- 44 赤松地区農村RMO推進協議会（美波町）

愛媛県（1地区）

- 45 奥松瀬川地区農村活性化協議会（東温市）

高知県（4地区）

- 46 本山町農村みらい会議（本山町）
- 47 明るい柳野を創る会（いの町）
- 48 集落活動センター「四万川」推進委員会（梶原町）
- 49 （一社）三原村集落活動センターやまびこ（三原村）

九州

長崎県（1地区）

- 50 根獅子・飯良まちづくり運営協議会（平戸市）

熊本県（2地区）

- 51 菊鹿さきもり隊（山鹿市）
- 52 くまむら地域再生協議会（球磨村）

宮崎県（2地区）

- 53 酒谷地区むらおこし推進協議会（日南市）
- 54 東米良地区1000年協議会（西都市）

鹿児島県（2地区）

- 55 北山校区コミュニティ協議会（始良市）
- 56 天城町地域づくり協議会（天城町）

関東

長野県（3地区）

- 8 戸隠地域づくり協議会（長野市）
- 9 小谷村農村地域づくり協議会（小谷村）
- 10 秋山郷地域づくり協議会（栄村）

北陸

新潟県（2地区）

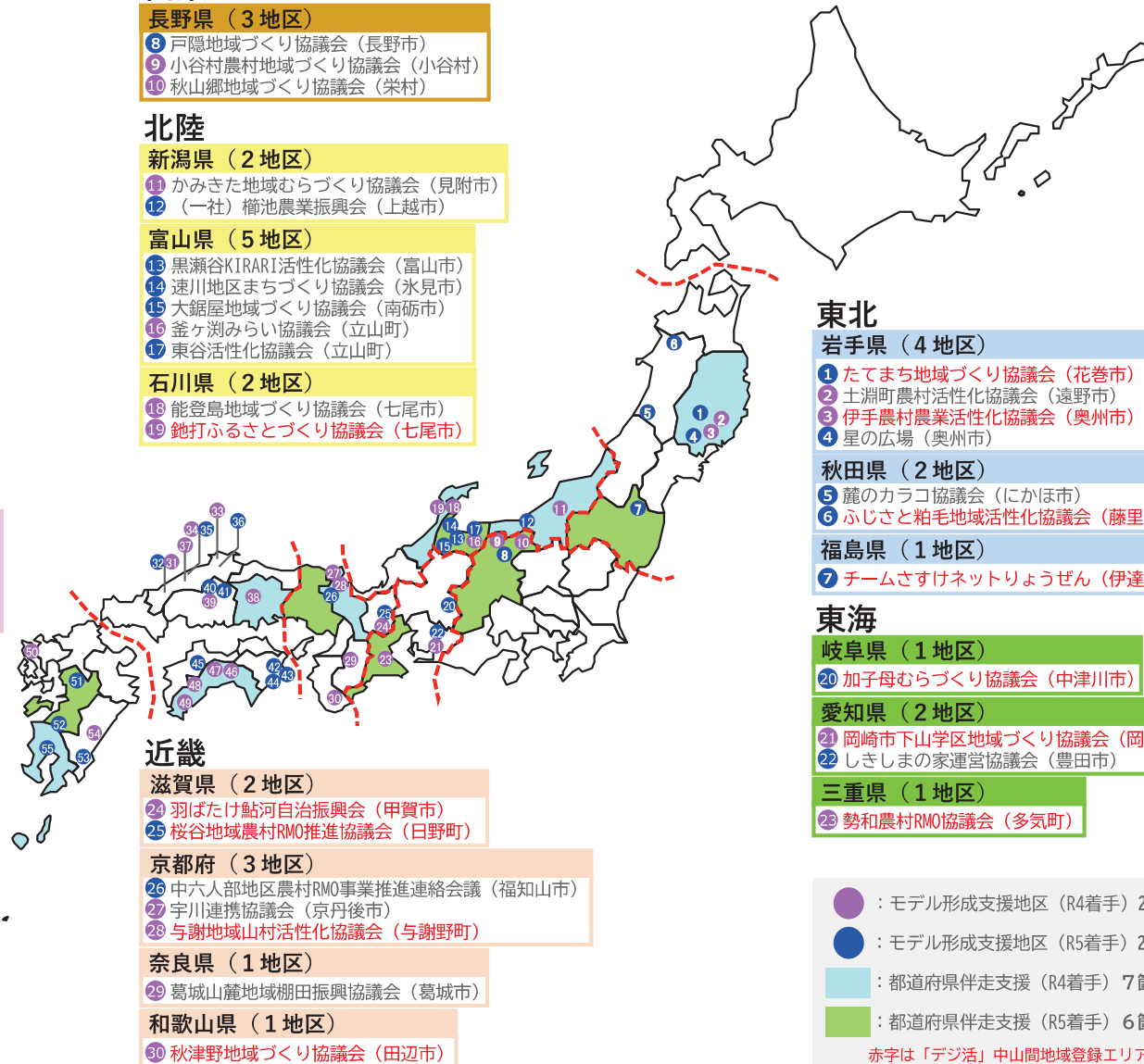
- 11 かみきた地域むらづくり協議会（見附市）
- 12 （一社）櫛池農業振興会（上越市）

富山県（5地区）

- 13 黒瀬谷KIRARI活性化協議会（富山市）
- 14 速川地区まちづくり協議会（氷見市）
- 15 大鋸屋地域づくり協議会（南砺市）
- 16 釜ヶ淵みらい協議会（立山町）
- 17 東谷活性化協議会（立山町）

石川県（2地区）

- 18 能登島地域づくり協議会（七尾市）
- 19 鉦打ふるさとづくり協議会（七尾市）



東北

岩手県（4地区）

- 1 たてまち地域づくり協議会（花巻市）
- 2 土淵町農村活性化協議会（遠野市）
- 3 伊手農村農業活性化協議会（奥州市）
- 4 星の広場（奥州市）

秋田県（2地区）

- 5 麓のカラコ協議会（にかほ市）
- 6 ふじさと粕毛地域活性化協議会（藤里町）

福島県（1地区）

- 7 チームさすけネットりょうぜん（伊達市）

東海

岐阜県（1地区）

- 20 加子母むらづくり協議会（中津川市）

愛知県（2地区）

- 21 岡崎市下山区地域づくり協議会（岡崎市）
- 22 しきしまの家運営協議会（豊田市）

三重県（1地区）

- 23 勢和農村RMO協議会（多気町）

農村RMOホームページでは、本資料の他、各地区の概要も併せて掲載しています。
 （農村RMOホームページ）<https://www.maff.go.jp/j/nousin/nrmo/index.html>